

都市再生整備計画 事後評価シート
神保原駅南地区

令和3年2月

埼玉県 上里町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	上里町		地区名	神保原駅南地区			面積	37 ha				
交付期間	平成27～平成30年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	221.1百万円	国費率	40%						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【公園】(仮称)かみさとセントラルパーク(後にあおぞらパークに名称決定) 【公園】(仮称)キッズパーク(後にどんぐりの丘公園に名称決定) 【地域生活基盤施設】防災備蓄倉庫 【地域生活基盤施設】かまどベンチ 【地域生活基盤施設】ソーラー照明灯 【地域生活基盤施設】雨水抑制対策施設 【地域生活基盤施設】雨水浸透施設												
		提案事業	—												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	—		—			—							
		新たに追加した事業	基幹事業	—		—			—						
			提案事業	—		—			—						
	交付期間の変更	当初	平成27～30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし									
		変更	—												
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	内水浸水被害面積	ha	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
					基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	あり	—					
1.5		H26	0	H30	—	0	○	なし			—	基幹事業である「あおぞらパーク」における雨水浸透施設の整備により当該地区の雨水排水機能が向上した。公園自体が調整池としての機能を果たすことになり、指標の達成に繋がったと言える。	—		
17		H26	102	H30	—	321	○	あり	—	各公園はコンセプトが異なり、利用者にとっては目的ごとに選択して利用する楽しみが増えたと言える。新設の2公園においては防災備蓄倉庫等の災害対策機能が整備されており、地域に高機能の公園が新設されたことも指標の達成に繋がった要因と言える。	—				
指標2	公園の利用者数	人/日	従前値		目標値		数値		目標達成度※1			1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	あり	—							
17	H26	102	H30	—	321	○			なし	—	各公園はコンセプトが異なり、利用者にとっては目的ごとに選択して利用する楽しみが増えたと言える。新設の2公園においては防災備蓄倉庫等の災害対策機能が整備されており、地域に高機能の公園が新設されたことも指標の達成に繋がった要因と言える。	—			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	—	—	従前値		目標値		数値		目標達成度※1			1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	—	—						
—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—	—	—	
4) 定性的な効果発現状況	なし														
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等								
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた												
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した												
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた													
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した													
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた													
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した													
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													

様式2-2 地区の概要

神保原駅南地区(埼玉県上里町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年度	値	年度	値	年度
大目標: 多くの世代の住民が調和して暮らせる、安全・安心なまちづくりを行う 目標①: 災害に備え誰もが安全・安心に生活できるよう、都市の防災機能を強化する。 目標②: 地域コミュニティを強化させ、世代間交流を行い健康づくりに活用することにより、住民が心身ともに健康でいきいきと暮らせる都市を形成する。	内水浸水被害面積	ha	1.5	H26	0	H30	0	R2
	公園利用者数	人/日	17	H26	102	H30	321	R2

■【公園】(仮称)キッズパーク
(正式名称:どんぐりの丘公園)

■雨水施設 集水枿(どんぐりの丘公園内)



■かまどベンチ(どんぐりの丘公園内)





■基幹事業 公園
・(仮称)キッズパーク(1,500㎡)

■基幹事業 公園
・(仮称)かみさとセントラルパーク(7,500㎡)

■基幹事業 地域生活基盤施設
・雨水抑制対策施設

■基幹事業 地域生活基盤施設
・防災備蓄倉庫
・かまどベンチ
・ソーラー照明灯
・雨水浸透施設

凡例
■ 基幹事業
■ 提案事業
--- 関連事業

■【公園】(仮称)かみさとセントラルパーク
(正式名称:あおぞらパーク)

■雨水浸透施設(あおぞらパーク内)



■防災備蓄倉庫(あおぞらパーク内)



※提案事業・関連事業は実施なし

まちの課題の変化

- ・基幹事業の地域生活基盤施設の整備により、雨水浸透施設が設置され、豪雨、浸水被害への対策が図られた。
- ・基幹事業の地域生活基盤施設の整備により、「あおぞらパーク」と「どんぐりの丘公園」に防災備蓄倉庫、かまどベンチ、ソーラー照明灯が設置され、防災性の向上が図られた。
- ・基幹事業において「あおぞらパーク」と「どんぐりの丘公園」が整備され、多世代が利用できる公園の賑わいが創出された。
- ・基幹事業において「あおぞらパーク」と「どんぐりの丘公園」が整備され、健康増進、健康維持の場としての公園利用の機会が創出された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・住民の防災意識の向上
- ・災害時の救助等の道路と安全な歩道の整備
- ・防火施設の不足解消
- ・「あおぞらパーク」利用者による路上駐車解消および利用者のマナーの向上
- ・地区内の公園における多世代の交流機会の創出